

地球システム・倫理学会、一般社団法人全国日本学士会主催

2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」

開催日時

平成30年

9月29日(土)

10時30分～17時30分

(受付:10時～)

開催場所

東京大学農学部フードサイエンス棟1階

中島ホール

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

参加自由(準備の都合上、裏面により事前にご連絡願います。)

I 主催者挨拶

10:30 ~ 10:40

II 趣旨説明

10:40 ~ 11:00

「東京で有明海再生の道を考える」

地球システム・倫理学会理事、奥根森里海研究所所長 田中 克

III 講演

講演

11:00 ~ 16:45

講演1 地球システム倫理としての有明海問題(11時～12時)

「クストーの思想に学ぶ」

地球システム・倫理学会会長顧問

服部 英二

「自然と共生する技術とは何かー有明海の再生に向けて」

地球システム・倫理学会副会長、星槎大学共生科学部教授

鬼頭 秀一

講演2 有明海的环境と生き物の多様性(13時～14時)

「有明海異変と環境変化ー諫早湾漸受け堤防設置との関連」

熊本県立大学環境共生学部教授

堤 裕 昭

「稚魚研究から見た有明海の異変と未来」

高知大学海洋生物教育研究センター教授

木下 泉

講演3 有明海で漁業と農業に生きる(14時～15時)

「有明海を“宝の海”に戻したい」

佐賀県多良町漁師

平方 宣 清

「干拓地で農業に生きる」

農業生産法人(株)マツオファーム代表

松尾 公 春

講演4 有明海再生へ向けての展望(15時15分～16時45分)

「韓国順天湾干潟の再生・保全から有明海再生を展望する」

福岡県立伝習館高校教諭

木庭 慎 治

熊本県立岱志高校教諭

松浦 弘

「ラムサール条約と森里川海プロジェクトから有明海再生を展望する」

環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトチーム・副チーム長

鳥居 敏 男

「森は海の恋人から有明海再生を展望する」

NPO 法人森は海の恋人理事長

昌山 重 篤

IV 有明海再生へ向けての提言とりまとめに関する意見交換

16:45 ~ 17:30

V 写真展示「有明海と諫早湾の今昔」

於：中島ホール入口フロアー

宝の海と呼ばれた有明海・諫早湾の海と漁業を撮り続ける中尾勸悟氏(肥前環境民俗写真研究所代表)の写真展示

講演者と参加者の懇親会

時間：18時～20時

会費：3,000円

※シンポジウム終了後、講演者を交えた懇親会を催します。

場所：レストラン「アブルボア」www.abrevoir.co.jp/

東京大学弥生キャンパス 向ヶ岡ファカルティハウス内)

共 催：有明海漁民・市民ネットワーク、NPO 法人森は海の恋人、NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く、
後 援：三井物産環境基金、地球・人間環境フォーラム、WWF Japan、認定 NPO 法人アースウォッチ・ジャパン

一般社団法人 **全国日本学士会事務局**

Tel : 075(724)6500 Fax : 075(722)3002

e-mail : gakusi@poppy.ocn.ne.jp

地球システム・倫理学会、一般社団法人全国日本学士会主催

2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」

東日本大震災は、忘れかけていた自然への畏敬の念を取り戻す必要性を根源的に訴えました。一方、私たちはこの間目先の経済成長を最優先させ、生物生産性が極めて高く、生物多様性に富んだわが国周辺の海に深刻な影響を及ぼし続け、続く世代が海とともに生きる確かな未来に赤信号が点滅する事態を招いてしまいました。その象徴が、「宝の海」から「瀕死の海」に至った有明海なのです。諫早湾潮受け堤防の設置は、地球システムに大きな分断を生み出しただけでなく、自然とともに生きてきた地域社会にも深刻な亀裂を生み出しました。

この困難な現状を、水循環とともに生きる農林漁業の協同の輪を広げながら、共に生きる道を生み出し得るかが、未来世代から問われています。有明海問題は、九州の一地方の問題ではなく、この国が抱えた根源的な問題であり、圧倒的多数の人々が暮らす都会の問題でもあります。地球システム倫理、環境倫理の問題でもある有明海問題の今日的意味を考え、未来志向のもとに、再生への叡智を生み出すシンポジウムを東京で開催するものです。

開催日時：平成30年9月29日(土)
10時30分～17時30分(受付:10時～)

開催場所：東京大学農学部
フードサイエンス棟 中島ホール
(東京都文京区弥生1-1-1)



【アクセス】

東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩1分
本郷三丁目駅(地下鉄丸ノ内線) 徒歩12分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩10分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩8分

【問合せ先】

一般社団法人全国日本学士会事務局
Tel:075(724)6500 Fax:075(722)3002
e-mail:gakusi@poppy.ocn.ne.jp

※【表紙の写真:中尾勘悟氏提供】1989年5月頃の諫早湾(雲仙市吾妻町牛口地先の干潟)

この頃は大型のアゲマキガイが沢山育ち、漁師達は先を争って掘り、ベテランになれば一日数時間で50kg以上獲っていた。ところが、このアゲマキガイは、1990年を境に、数年のうちに有明海から消えてしまった。

地球システム・倫理学会、一般社団法人全国日本学士会主催 2018年東京シンポジウム参加申込

氏名または団体名	
参加人数	シンポジウムへの参加 () 人 懇親会への参加 () 人

※記入いただいた個人情報、本シンポジウム以外の目的で使用することはありません。
※懇親会参加費の領収書は発行いたしません。

参加
申込

参加申込書をご記入の上、FAXでお送りいただくか、同内容を記載したE-mailもしくは電話によりお申込ください。なお、参加申込受付票は発行しません。

FAX: 075-722-3002 (FAXの場合は、切り取らずにお送りください) E-mail: gakusi@poppy.ocn.ne.jp